

人生ハンド仏句

第23号

H. 16. 2. 1

(毎月1日発行)

俱生靈神符の話

住職 谷川寛俊

毎月一日に発行しているお守り様(俱生靈神符(ぐしょうれいじんふ))についてご説明申し上げます。

俱生靈神と言う神様の名を、初めて知った方もあるでしょうが、略して俱生神(ぐしょうじん)と申します。靈神符というのは、俱生神があなたを護る契(ちぎりの符(あかし)です。この俱生神を受けられた方は、深い仏縁のあるひとです。

仏縁のない人は、受けたと思って、受けることは出来ません。一度受けた人でも毎月始めに替えられぬ人は、仏縁の薄い人です。

靈神符はお守り袋に入れて、家にいる時も外に出かけるときも、必ず身に付けて下さい。

信仰の強い人は、強い護りを受けますが、弱い人でも護って頂けます。

ただし、あまり弱いと、守護は一度だけしかありません。信仰の強い人には強く、弱い人には弱いということとは、深い理由があります。

人がこの世に生まれると言うことは、ただごとではありません。子供が生まれることを『授かりもの』というのはその意味です。

肉体を生むのは両親ですが、命の親は、生命本体界の本仏です。

その本仏の親から生まれたあなたは、真正正銘、本仏の子供です。

本仏の子と生まれたのは、この世で本仏のお手伝いをする役があるからです。

俱生神という神様は、その本仏の代理の役がよく果たせるようにと、生まれたときから同時にあなたの身に付けている神様です。

これは生命の不思議で、深い理由があります。しかし、あなたはそれをしりませんでした。

知らなくても、神様の方は常に護り続けておられます。

その護りを知っている人と、知らないで過ごす人では、その護りの強さがちがいます。

知っている人の護りは強く、知らない人の護りは弱いのです。

強くても弱くても、そのお護りの恵みで無事に今日を迎えたのです。それを忘れてはいけません。

それを忘れる人は、不知恩といって恩知らずの不幸者です。

あなたの俱生神は、あなただけを護り、他の人には関係ありません。

他の人にも、それぞれの俱生神が護っているのです、当人だけの護りに専

念するのです。

俱生神のより強い護りを受けるために、毎月の始めに、その月の靈神符を戴き身につけます。

俱生靈神符を毎月取り替えるのは、一ヶ月間の厄災を未然に防ぎ、ご加護を下された御恩に対し感謝の念を示し、新たなる力を戴く為です。

俱生神様のお力は無限ですが、靈神符に込められた祈りは、ご加護を強く戴くために、一ヶ月間にかざられていますから、必ず毎月交換しなければ成りません。

以下次号につづく。

あらゆるいのち
仏のいのち